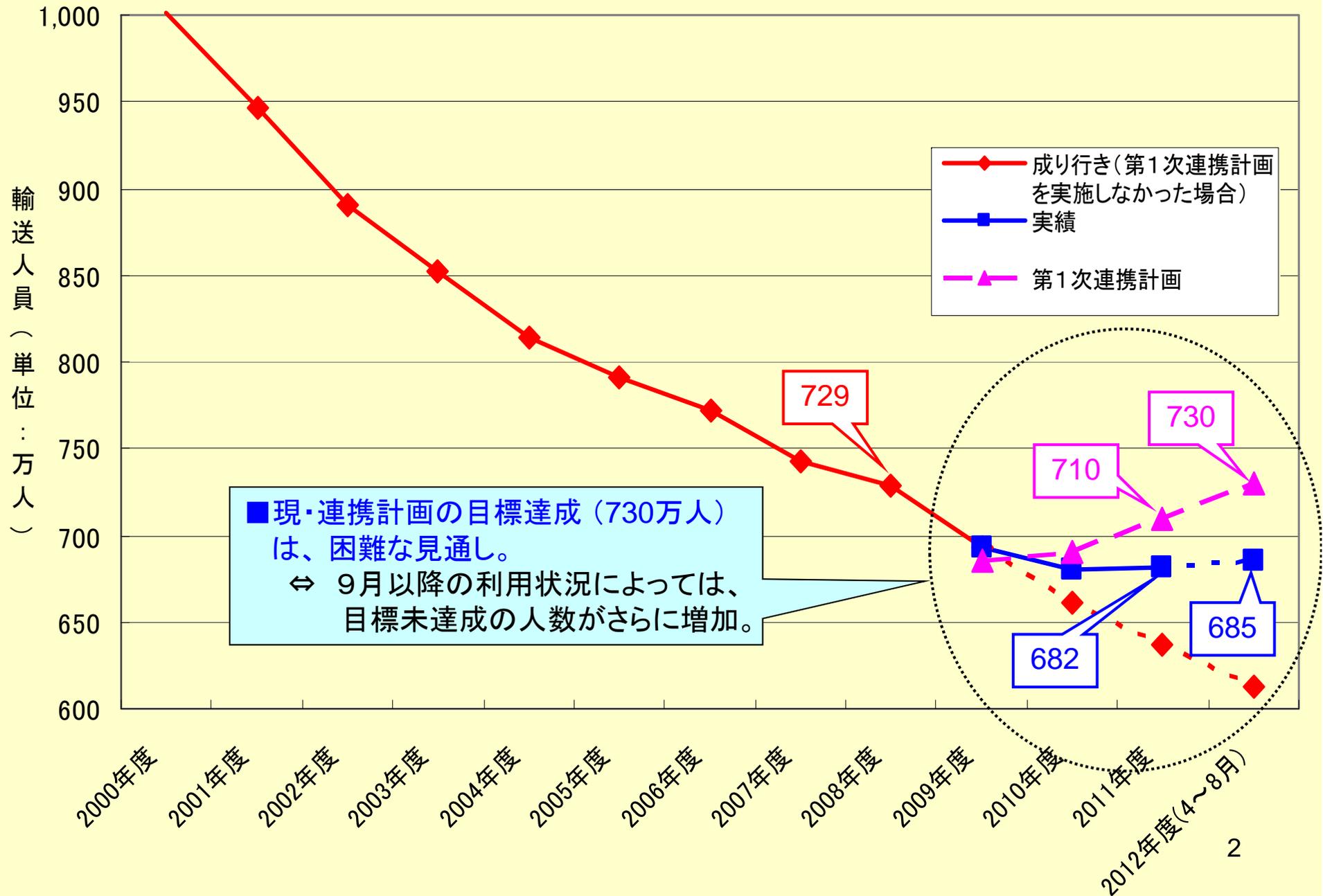


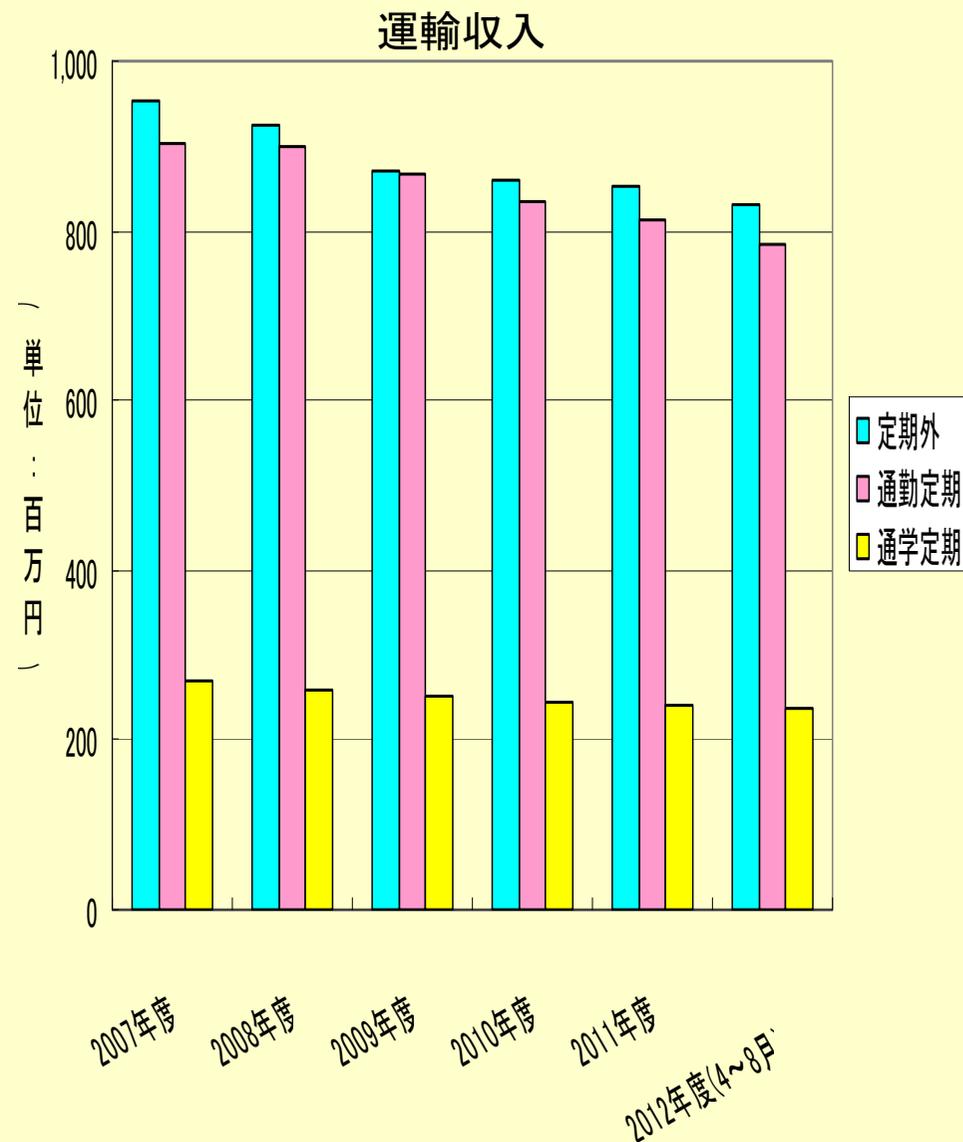
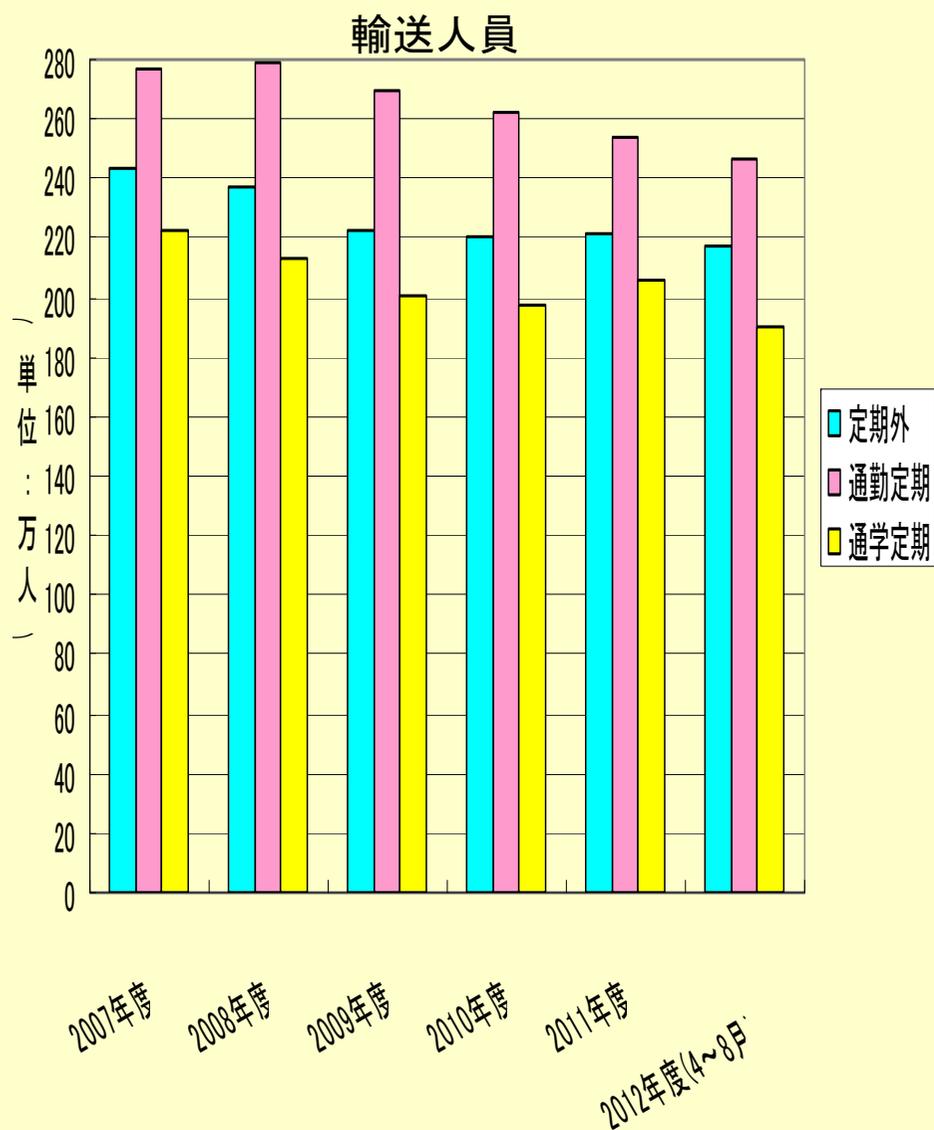
粟生線の2013年度以降の次期・連携計画を
検討・策定するうえでの前提条件等について

2012年10月5日

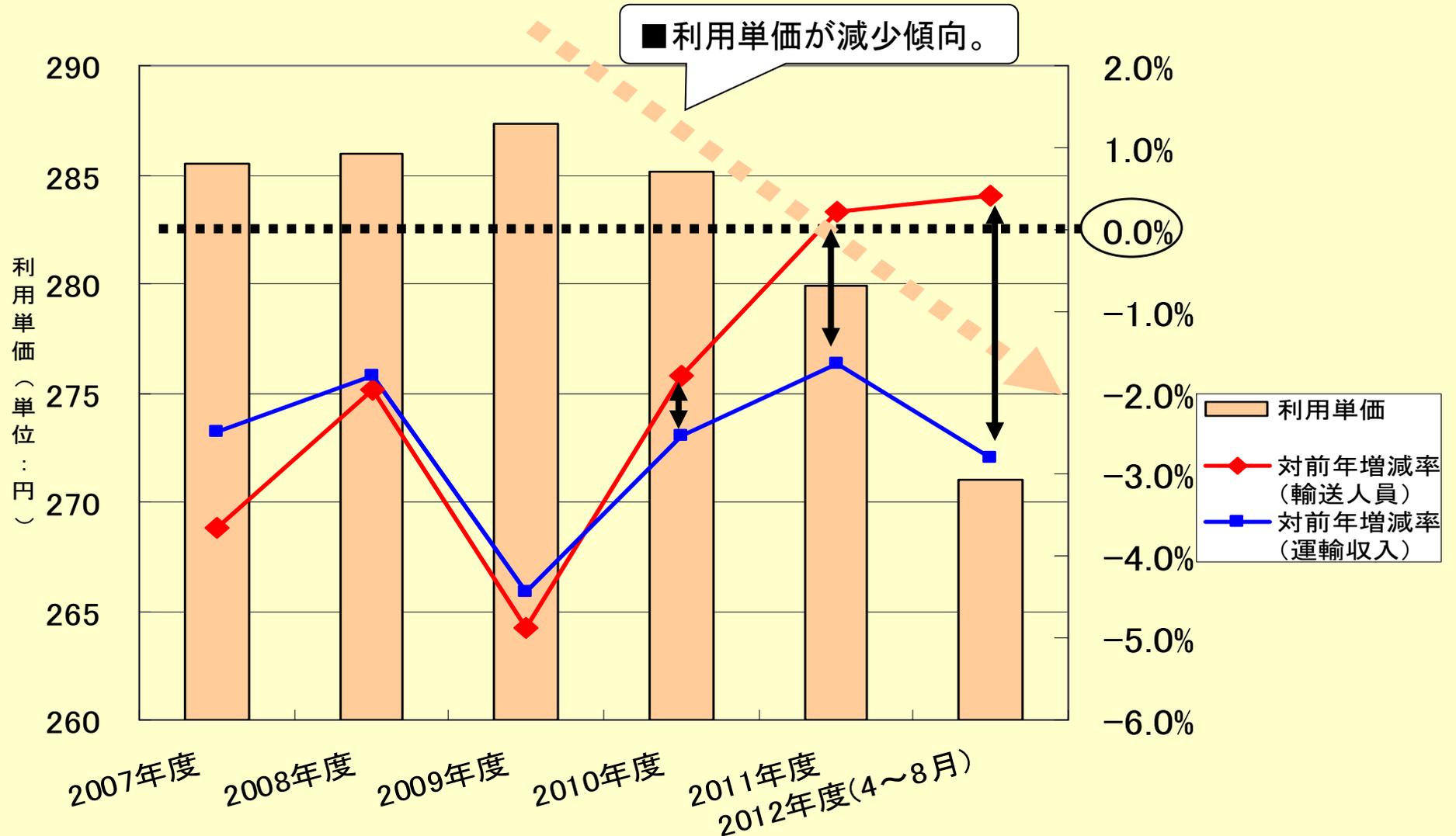
栗生線の輸送人員（実績と計画等）



栗生線の券種別の輸送人員と運輸収入

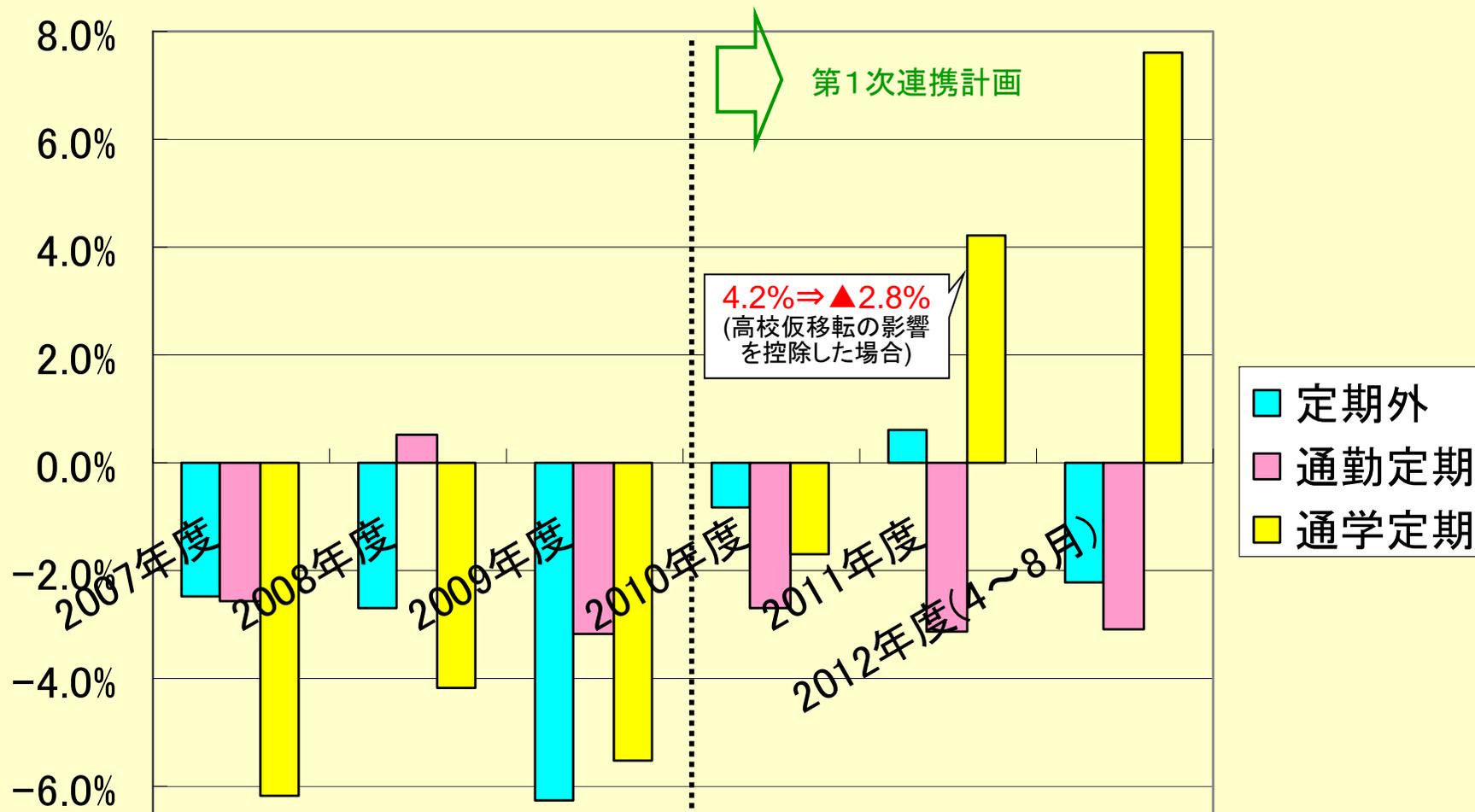


栗生線の輸送人員・運輸収入の対前年増減率と利用単価



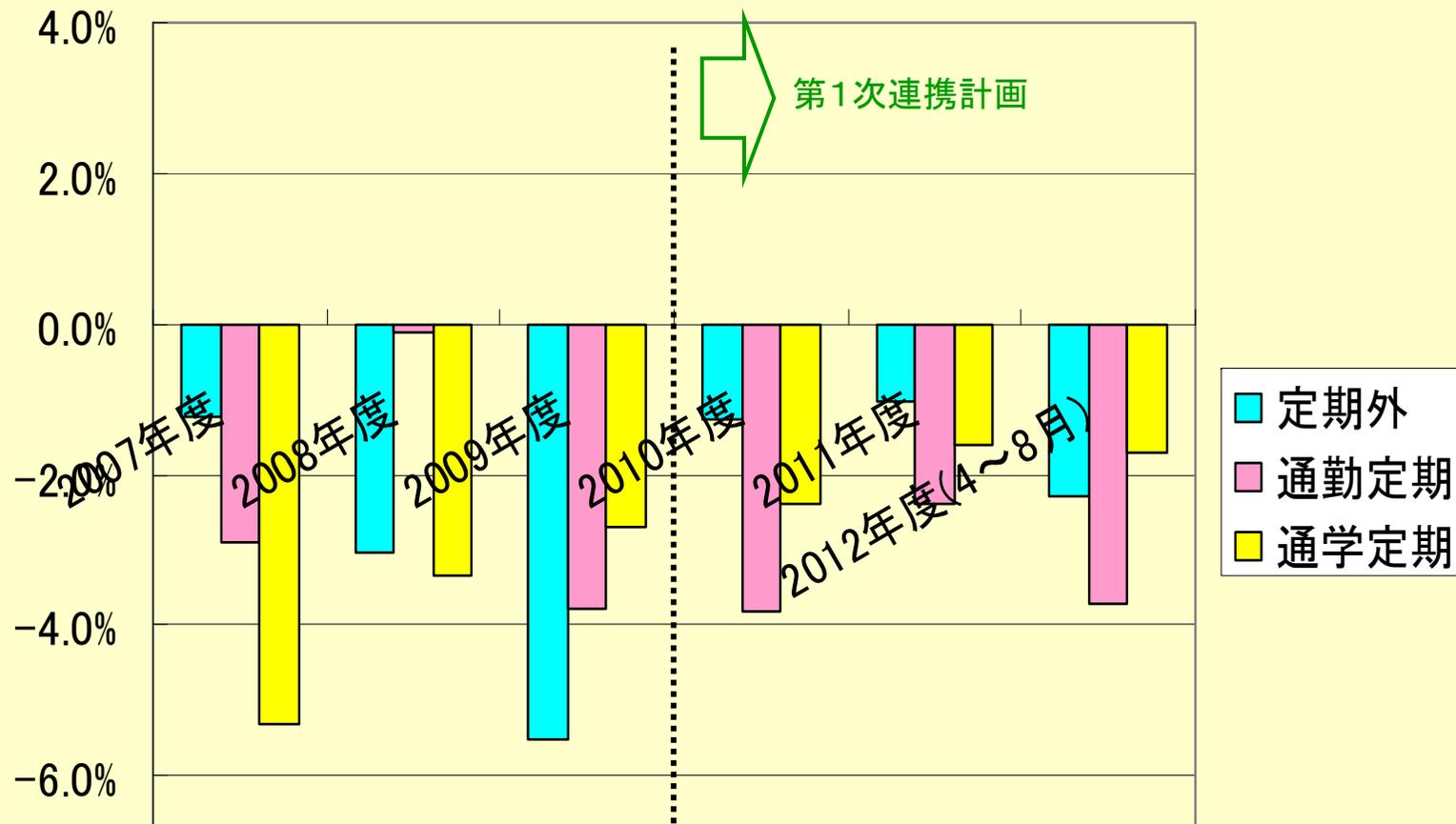
■ 利用促進がスタートした2010年度以降、輸送人員の増減率は改善傾向にあるものの、利用単価の減少等により運輸収入の増減率は改善傾向が見られない。

栗生線の券種別・輸送人員の対前年増減率



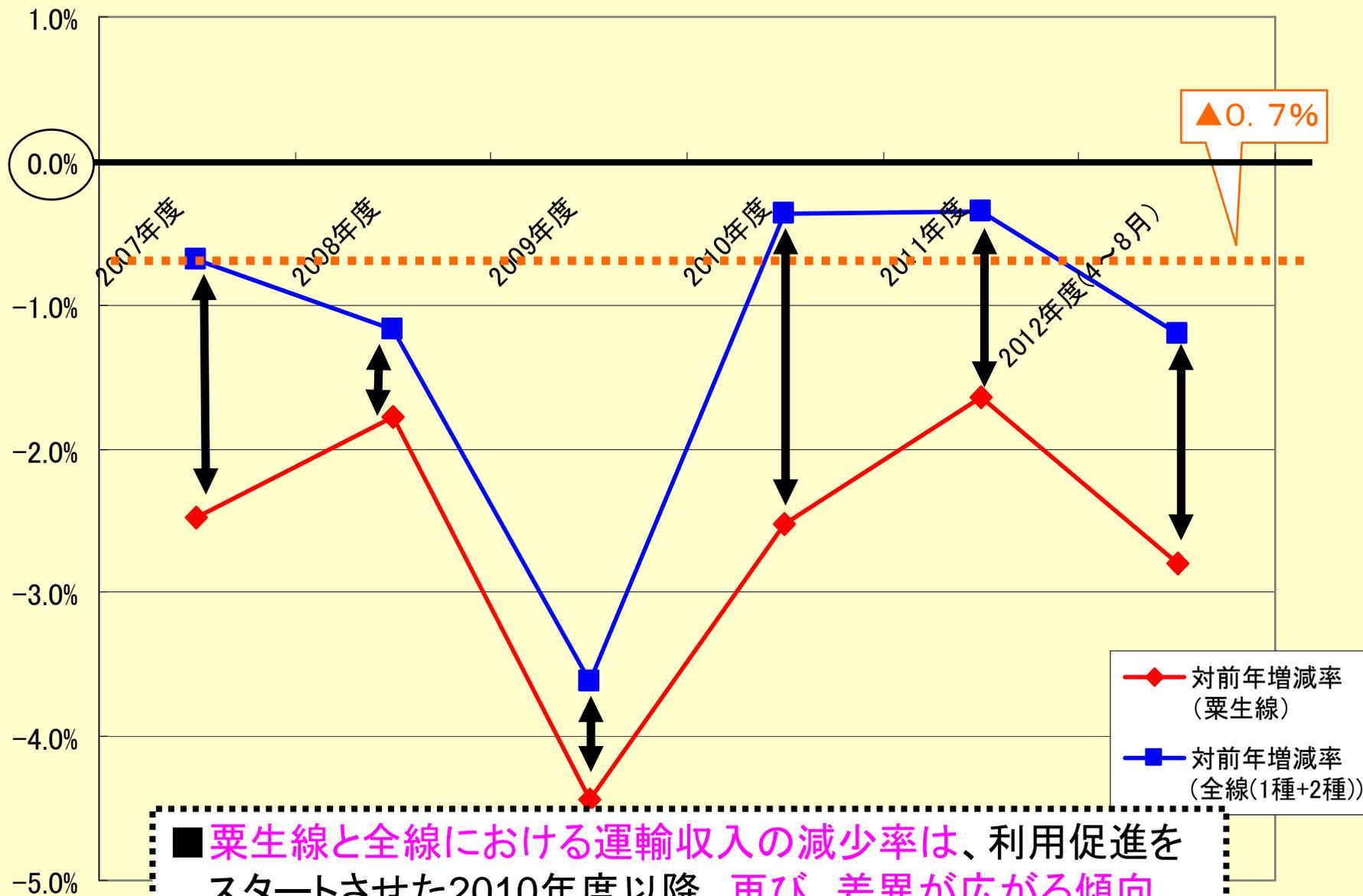
- 定期外: 下げ止まり傾向が見られつつあるものの、プラスに転じるまでの兆候は見られない。
 - 通勤定期: 下げ止まり傾向は全く見られない。
 - 通学定期: 実質的に下げ止まり傾向は見られない。
- ※ 特殊要因(西鈴蘭台への高校仮移転)の影響を見極め必要。

栗生線の券種別・運輸収入の対前年増減率



- 定期外：減少率の縮小傾向は見られつつあるものの、プラスに転じるまでの兆候は見られない。
 - 通勤定期：下げ止まり傾向は全く見られない。
 - 通学定期：減少率の縮小傾向は見られつつあるものの、プラスに転じるまでの兆候は見られない。
- ※ 特殊要因(西鈴蘭台への高校仮移転)の影響の見極め必要。

栗生線・全線における運輸収入の対前年増減率



■ 栗生線と全線における運輸収入の減少率は、利用促進をスタートさせた2010年度以降、再び、差異が広がる傾向。
 ⇔ 栗生線が全線の足を引っ張る状況。

現・連携計画における取り組み等の評価

【総括】

- **連携計画の目標**(730万人)は、**未達成の見通し**。
⇔ ▲50万人～▲40万人と大きく下ブレする見通し。
- **輸送人員**は定期外に下げ止まり傾向が見られつつあるものの増加に転じるまでの兆候までは見られない。
定期(特に、通勤)には下げ止まり傾向が見られず。
また、**運輸収入**は、定期外・定期とも下げ止まらず。
- 連携計画にもとづき実施した取り組みそのものは、定期(通勤・通学共)利用よりも、**定期外利用が増える内容・施策に偏り**。
- **沿線地域の支援・協力**は得られつつあるものの、**沿線地域による主体的な取組み・参画の実現までには至らず**。

現・連携計画の事業・取り組みの実施状況

◇ 手元資料(A3資料)をご参照

次期・連携計画における取り組み等の方向性(3/1)

- 現・連携計画における取り組みの評価を踏まえ、次期・連携計画での取り組み等の方向性は、下記のとおり。

【方向性】

- 粟生線の維持・存続に向けた新たな支援がスタートしたものの、民間企業単独では維持・存続が困難な、極めて厳しい収支状況にあることに何ら変わりはなく、維持・存続のためには、何よりも利用実績の増加が必要不可欠。
 - ⇒ 今まで以上に利用を増やしていくためには、地域による主体的な取り組み・参画が一層重要。
- 輸送人員に占める割合が高く、収入効率の高い通勤定期利用者と定期外利用者の利用促進に一層注力。
 - ⇒ 通勤定期利用者の減少傾向に歯止め
 - ⇒ 更なる定期外利用者増の推進

次期・連携計画における取り組み等の方向性(2/3)

■ 通勤定期利用者の減少傾向に歯止め

① 沿線企業・団体に対する継続的な利用啓発の推進

▽個別訪問やアンケートなどによる地道な働きかけを継続

▽沿線企業・団体によるノーマイカーデーの推奨・実施 etc.

② エコ通勤推奨に対する協議会補助の検討

▽電車通勤転換時の定期券購入に対する協議会補助

▽運転免許証自主返納時の定期券購入に対する
協議会補助 etc.

次期・連携計画における取り組み等の方向性(3/3)

■更なる定期外利用者増の推進

① 沿線地域が主体的に行う利用促進

- ▽協議会による鉄道利用促進活動への直接的な協力・参画
(登録ボランティアによる協力 など)
- ▽学生の校外学習などにおける鉄道の積極的利用
- ▽沿線地域独自の鉄道利用促進活動の実施等 etc.

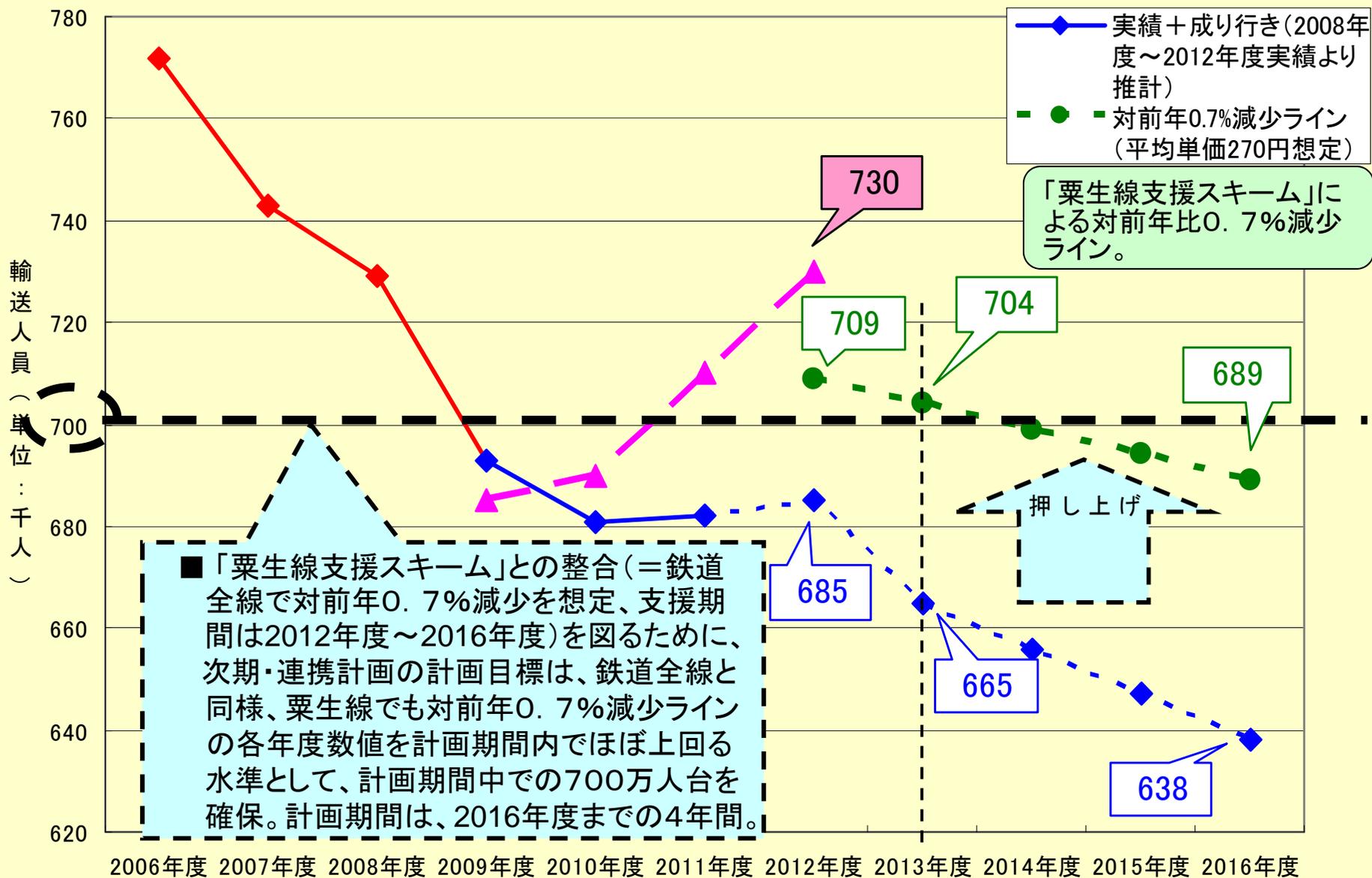
② 沿線地域が行う利用促進活動等への協議会補助の検討

- ▽鉄道を利活用・活性化する沿線地域の活動等への補助
- ▽鉄道利用による学校の野外学習等への補助 etc.

③ 沿線市等が主体的に行う利用促進等

- ▽職員等による率先行動等
(エコ通勤デーの実施、出張時の鉄道利用 など)
- ▽まちづくりや観光振興との連携 etc.

栗生線の今後の輸送人員(推計)等



栗生線の今後の輸送人員と次期連携計画目標等

